

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

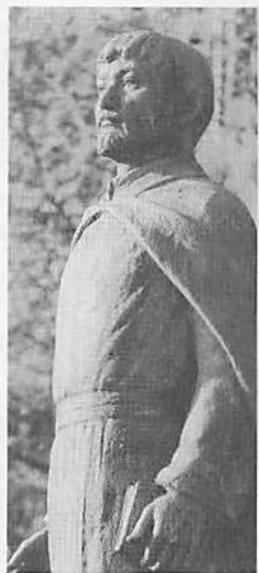
6頁～10頁 2007年のスケジュール

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



新年明けまして
おめでとうござい
ます。今年も京都
教区の全ての信者
で、「みながひと
つになって」(司
教のモットー)共
同宣教司牧を推
進していきましょ
う。私たち京都教区は2004年から3年に
からミサを生
きる』をテー
マにして、信
仰と生活を統
合した福音宣
教する共同体
を続けてきま
す。



ペトロ岐部神父

1. 「日常からミサを生きる」京都教区の
歩み

2007年 司教年頭書簡

『京都の大殉教を想う新しい福音宣教』

「日常からミサを生きる歩みを踏みしめて— 京都司教 パウロ大塚喜直

『新しい福音宣教』を行う教会の運営と活動を共同宣教司牧の精神で整える「小教区評議会の規約作り」は、昨年を最終の3年目として完成することを目指に取り組みました。56全ての教会から暫定規約案が1年かけて提出され、「小教区評議会規約調整委

した。昨年は、「新しい福音宣教」をキーワードとして、「新しい熱心・心構え」、「新しい方法」、「新しい表現」について分かち合いました。

この度、日本の教会が心から待ち望んでいた「ペトロ岐部神父と187殉教者」の列福が決まり、この秋日本で初めての列福式が長崎で行われます。その中には「京都の大殉教」の52名が含まれています(注1)。私はこの1年を、列福される殉教者の信仰を模範にして、

『日常からミサ
を生きる』京都
教区の「新し
い福音宣教」の歩
みをしっかりと
踏みしめる1年
にしたいと思
います。

1
2007

員会」が逐次それらの検討作業を行いました。実際に56個の規約は、教区の指針を元にしながらも、それに工夫がこらされ、共同宣教司牧の精神を個々の小教区でどのように生かすか、また新たな部会制度を導入して動き始めた教会の動きをどのように表現するか、努力してくださっている姿がよくうかがえました。しかし、詳細においては多くの規約に教区の指針とやや異なる箇所や明確にしなければならない表現などがあり、調整の時間がもう少し必要となりました。そこで、この1年をかけて、個々の規約と、各教会・brookと教区全体との整合性のための検討と修正の作業を行いました。各教会は暫定規約のままで、教会役員の選出や、部会活動を軌道にのせる試みを続けてください。

3. 日本のキリスト教時代の殉教

聖フランシスコ・ザビエルの宣教によって生まれた日本の教会は、すぐに有名無名の多くの信仰の先人たちを生み出しました。やがておとずれた激しいキリスト教弾圧時代を生き抜いた日本の教会は全国で多くの殉教者を輩出しました。そのうち、1862年に列聖された「日本26聖人殉教者」と、1987年に列聖された「聖トマス西と15殉教者」(含む「ミヤコのラザロ」)がいて、合わせて42人の聖人がいます。今年は、この「ミヤコのラザロ」の列聖20周年の記念の年でもあります。そのほか1867年に『日本205福者殉教者』が列福されています(注2)。

日本司教団は、1981年ヨハネ・パウロ2世が来日された時に日本の殉教者について再三語られたのを機会に、1603年以降迫害と拷問が最も激しく続いた時代の殉教の調査を始めました。そして1984年正式にローマ聖座の許

可をうけた「ペトロ岐部と187殉教者」の列福運動を始めました(注3)。そして、昨年ベネディクト16世は「ペトロ岐部と187殉教者」の列福を裁可し、決定の教令(Decretum)を発布されました。遂にめでたく今年の秋に日本で同殉教者の列福式を執り行うことになったのです。これは日本の教会にとって大きな恵みであり、福音宣教のために大切な機会としなければなりません。その中に「京都の大殉教」52名が含まれているのです。私たち京都教区は特別の思いでこの1年を過ごさなければなりません。

4. ペトロ岐部と187殉教者の特徴

この度の殉教者にはいくつかの特徴があります。第1は、殉教の地が東北、関東、関西、中国、九州の各地に及んでいます。第2は、信徒、修道者、司祭、町民、農民、武士などいろいろな人々であること。第3は、幼児から老人にいたまでの男女の殉教者、健常者、身体障害者が含まれていることです(殉教者列福調査委員会編、「愛の証 ペトロ岐部と187殉教者」、1995年、白柳誠一枢機卿の序文より)。日本司教団の列福調査委員会担当の溝部脩司教様は、現在ローマ・カトリック教会が聖人の位に挙げる基準について次のように指摘されます。「まずは信徒の時代を反映して、信徒の代表的人物を優先させること。しかも、その信徒というのは、彼らが生きた当時の社会で家庭を営み、子どもを育て、信仰生活を生きた人々のことである」。この度の福者のほとんどがキリスト教時代に信仰をもって生きた老若男女、子どもから高齢者に至るまでの家庭人なのです。私たちは世界でも比類のない殉教者をいただく日本の教会を誇りに思います。

5. 京都の大殉教

キリストン時代の大殉教と呼ばれるものは、京都の大殉教（1619年10月6日）、江戸の大殉教（1623年12月4日）と三つあり、すべて火刑でした。京都の大殉教は、將軍秀忠の命によって六条と七条の間の鴨川の東側（現在の大仏正面のあたり）で、すべて信徒52名の一団が殉教を遂げました。うち幼児を含む12名が幼い子どもであり、若い母親の奉獻が大きな特徴です。1987年田中司教様がこの京都の「神のしもべたち」の列福運動を始められて以来、京都教区の信徒の方々の篤い祈りが今、聞き届けられようとしています。

「新しい福音宣教」に挑む現代の私たちが彼らの生涯と殉教の証しに思いを馳せ、心に刻めば、眞実の信仰をもって現代を生きようとする信徒とその家庭人に大きな励みとなります。とかく聖人と言えば司祭や修道者の聖職者が目立つだけに、京都の大殉教は信徒の信仰をおおいに鼓舞します。

6. ジョアン橋本太兵衛、妻テクラと5人の子ども

ジョアン橋本太兵衛とその妻テクラは、信徒としての経歴、神に捧げた子どもたちの花束をもってしても第一に紹介されます。太兵衛は京都の一番古い信者の父を持ち、幼い頃から信仰に親しんでいました。テクラも京都の出身で、小さい時からの信者で、主人と信仰においてもよく協力していました。殉教のとき、子どもと共にいのちを捧げるその姿は、殉教する日本の教会のしるしのようでした（結城了悟著、『京都の大殉教』1619年10月6日』1987年刊より）。私たちには、信仰を受けただけではなく、信仰を『日常か

7. 現代の殉教

殉教とは「証しする」という意味です。殉教者が証しするのは、自分の信仰の「強さ」ではありません。それは、「神の愛」のすばらしさです。命をかけて、神の愛を明らかにするのです。現代では、どの宗教を信じても日本では迫害されることはありません。しかし、それだけに信仰をもっていても、それを「生き生きと」生きることが難しくなっています。「ペトロ岐部と187殉教者」の信仰の鼓動が、時代を越えて私たちの心に響いてきます。そして、私たち現代の生温い信仰者を大きく揺さぶります。キリストン時代の殉教は遠い昔物語ではありません。

私たちは自分が洗礼を受けたあと、どうしているでしょうか。普段あまりにも自分のことだけを考え、どれほど周りの人々の救いのことを考えているでしょうか。それどころか、自分の信仰と救いさえも失いかけていないでしょうか。まして自分の信仰を証しする気持ちがあるでしょうか。洗礼を受けているということ、それは神の愛を知ったということであり、それは同時にキリスト者として、それを知らない人々に

証明する使命があたえられているということです。それぞれの人生で神の愛を具体的に証しする方法は千差万別ですが、共通点はキリストの命令どおり、神の愛を信じ、互いに愛し合うことの実践です。

8. ペトロ岐部神父と司祭召命

大分県国東半島の記念公園にあるペトロ岐部神父の銅像は前を見据え胸を張り、見るものを彼と同じ視線へと説いています。ローマまで行つて司祭に叙階され帰国したら迫害の時代。最後は拷問をうけ殉教するという波乱万丈の生涯を生きた岐部神父の目には、彼を雄々しく宣教に向かわせた屈強たる精神がみなぎっています。信徒の時代と言つても、カトリック教会にはミサ聖祭と諸秘跡を執行し、教会に全く生涯を賭けて奉仕する司祭が必要です。今回の188名の殉教者の中に4人の司祭がいます（注4）。これらの司祭たちはいずれも波乱に富んだ生涯を送り、壮絶な殉教を遂げています。彼ら司祭の殉教は、日々宣教司牧に邁進苦労しながらも忍耐し、希望して生きようとする現代の司祭たちに、大きな励みと慰めになります。日本は久しく司祭召命が少ない状況ですが、この度の4人の殉教司祭の列福は、日本の教会の司祭召命のために私たちが果たすべき務めを思い起させてくれます。共同宣教司牧を推進する京都教区の私たち信徒や司祭も、自らの人生を教会にささげ尽くす司祭を自分たちの中から選び出し送つてくださるように、父なる神さまに真心と相当の犠牲によって祈らなければなりません。

9. 殉教者が果たす預言者の役割

現代日本の教会は第2バチカン公会議の精神でキリストの福音を日本の社会に浸透させようと努力しています。キリストン時代の多くの宣教師が日本人と日本文化を評価し、日本という土壤に福音が土着化するために、ありとあらゆる試みを行いました。しかし、どの時代どの国にも非福音的な要素がある限り、真理である神のことばを告げる使命が止むことはありません。昨年のカトリック正義と平和協議会の京都大会での「このままでいいの？」という呼びかけも、今日の世界や日本を覆う諸問題の根底に平和への脅威があることを痛感し、「このまま、何もしなくてもいいのだろうか？」と、キリスト者の預言者として責任を喚起しています。閉会の、子どもとともに捧げるミサでは、大人たちが現代社会において信仰を真実生きるために、キリスト者がなすべき預言者としての使命を果たす決意を子どもたちの前で行い、子どもたちが受け継ぐ未来のために今大人がなすべきことを実行する約束を神の前で行いました。

『日常からミサを生きる』という目標の達成は、人間の尊さが踏みにじられるところでは必ず立ち向かって戦っていくというキリスト者の根本決断が生活全体にどのくらい染み透っているかにかかっているのです（2004年の司教年頭書簡）。「ペトロ岐部と187殉教者」の死は、「新しい福音宣教」に向かう私たちがキリストご自身の根本決断と戦いにあずかる勇気を与えてくれます。

10. 高山右近の列福運動を進めましょう

信徒の時代を反映するには、教会の中で特別な働きをした人たちを挙げる必要があります。特にキリストン時代、世間の事情に疎い外国からの聖職者たちを補佐し、社会的に大き

な影響を与えた人たちのことです。その代表的人物が『ジュスト高山右近』です。京都教区は、高山右近が幼少期に過ごした奈良・大和榛原で毎年「右近こども祭り」(5月5日子ども(の日)を地元の方と共に催で行い、顕彰活動を続けています。高山右近ゆかりの名古屋・大阪教区と共に、右近の列福運動に力を入れましょう。

11. 平和の元后マリアに祈る

今年も京都教区の福音宣教の歩みを聖母マリアの取次ぎによつて、父である神様におささげします。そして平和の元后マリアを通して、「世界の平和」のための祈りを続けましょう。「新しい福音宣教」の「新しい表現」としてキリスト者が平和について考え、祈り、行動することは義務です。これは、宗教や文化を越えて平和を愛するすべての人にも共通の義務です。神が与える真の恒久的な平和のために、真理を学び、真理を告げ知らせ、証しする福音宣教者になるように祈りましょう。

2007年1月1日 神の母聖マリアの祝日

注1.
「京都の大殉教」の名称について

現在、京都・鴨川大仏正面の殉教地には「元和キリスト教殉教の地」の石碑が立つてゐる。確かに1619年10月6日京都で行われた大殉教は元和年間に起こつた出来事であるが、「元和大殉教」ということばは、日本キリスト教史のうえで從来1622年9月10日長崎西坂での大殉教を指すことばとして定着していることから、それとの混同を避ける意味で、「京都の大殉教」ということばを用いた。

日本の三大殉教と呼ばれる他のひとつ「江戸の大殉教」が、「東京の大殉教」でなく、当時の地名「江戸」の大殉教となつていることから、「都の大殉教」あるいは「京の大殉教」とすべきであるとも考えられるが、「京都」とすることについても根本的矛盾はなく、かつこれまでカトリック教会内の列福運動のなかでも、すでに定着したことばとして「京都の大殉教」のことばを今回正式に採用した。

注2.

「福者」とは、聖人の前段階。日本にゆかりのある人々で、現在、列福運動が進められているのは、キリスト教時代ではジュスト高山右近、現代ではセレジオ修道会のチマッティ神父、長崎教区の中村長八神父(ブラジルで逝去)、イエズス会のペドロ・アルベ神父(ローマで逝去)など。

注3.

「殉教者列福調査特別委員会」の「歴史調査委員会」が招集されて、殉教者の資料収集、福者の選定が行われた。法制委員会が結成され、さらに日本での調査の最後の段階で「証人喚問」が行われ、殉教者について知名度がどのくらいか、尊敬されているか、福者になるのに障害がないかなどのことが、聞き取り調査という形で行われた。京都では、5人の信徒が証言した。集められた証言と莫大な殉教の資料は莊厳に封印され、ローマ教皇庁の「列聖省」へ送られ、審議が始まった。

注4.
ジュリアン中浦神父「長崎」、ディエゴ・結城了雪神父「大坂」、トマス金鍔次兵衛「長崎」、ペトロ岐部かすい神父「江戸」。「」

大塚司教のスケジュール

1月 1日 (月) 新年ミサ (河原町) 時	5日 (金) 司祭・修道者新年ミサ (河原町) 時	10日 (水) 中央協出版審議会 時	15日 (火) 共同宣教司牧推進チー ム事務局会議 15時	20日 (日) 仁豊野レジデンス訪問 ミサ (亀山) 10時	25日 (月) 東京カトリック神学院 教区合同洗礼志願式 (河原町) 14時	30日 (火) 東京カトリック神学院 教区合同洗礼志願式 (河原町) 14時	35日 (水) 同体 (ボルトガル語)
2日 (火) 司祭・修道者懇親会 12時	7日 (日) 主の公現ミサ (河原町) 時	12日 (木) 中央協常任司教委員会 (河原町) 11時	17日 (火) 故パウロ古屋司教命日 衣笠墓参10時	22日 (日) 東京カトリック神学院 常任司教委員会	27日 (火) 女子カルメル修道会訪問 (河原町) 14時半	32日 (水) 小教区評議会規約調整 委員会 14時	37日 (木) 長岡幼稚園感謝の祈り (河原町) 10時
3日 (土) 福音センター結婚講座 時	8日 (木) 典礼部新年会 12時	13日 (土) 中央協常任司教委員会 時	18日 (火) 日本二十六聖人殉教者顕彰ミサ (西陣) 15時	23日 (日) ノートルダム学院高等学校卒業式 10時	28日 (水) 進チーム会議 10時半	33日 (木) 長岡幼稚園感謝の祈り (河原町) 10時	38日 (金) 同体 (スペイン語)
4日 (日) 中央協常任司教委員会 時	9日 (水) 中央協常任司教委員会 時	14日 (木) 沿岸姉妹教区交流部 14時	19日 (火) 洛星高等学校卒業式 9時30分	24日 (土) 中央協常任司教委員会 時	29日 (木) 教区保育者研修会ミサ (津) 14時	34日 (金) 司教の奈良地区集会 (大和八木) 14時	39日 (土) 司教顧問会・責任役員会 10時
5日 (金) 中央協常任司教委員会 時	10日 (水) 中央協常任司教委員会 時	15日 (木) 中央協常任司教委員会 時	20日 (火) 社会福祉法人カリタス会理事会 14時	25日 (火) 第15回共同宣教司牧推進チーム会議 10時半	30日 (水) 同体 (スペイン語)	35日 (木) 司教顧問会・責任役員会 10時	40日 (金) 長岡幼稚園感謝の祈り (河原町) 10時
6日 (土) 教区評議会規約調整 時	11日 (日) 聖家族幼稚園感謝の祈り 11時15分	16日 (木) 司教顧問会・責任役員会 時	21日 (火) 圣母女学院高等学校卒業式 10時	26日 (月) ラテン・アメリカ人共生会 14時	31日 (火) 侍者合宿 (津) 14時	36日 (水) 神学校合同準備会 14時	41日 (木) 長岡幼稚園感謝の祈り (河原町) 10時
7日 (火) 小教区評議会規約調整 時	12日 (水) 圣母女学院高等学校卒業式 10時	17日 (木) 司教の滋賀地区集会 (大津) 14時	22日 (火) キリスト教一致週間 K C C の集い (日本基督 教団丸太町教会)	27日 (火) 学法京都学園・京都南学園理事会 14時	32日 (水) 聖母学院高等学校卒業式 10時	37日 (木) 聖母学院高等学校卒業式 10時	42日 (金) 神学校合同準備会 14時
8日 (水) 神学校合同準備会 時	13日 (木) 司教顧問会・責任役員会 時	18日 (火) 圣母女学院高等学校卒業式 10時	23日 (火) 三重地区司祭研修会	28日 (火) 学法滋賀学園理事会 14時	33日 (水) 聖香油ミサ (河原町) 15時	38日 (木) 聖香油ミサ (河原町) 15時	43日 (金) 神学校合同準備会 11時

31日(土)司教の京都北部地区集会(西舞鶴)14時	21日(土)時	会10時	リック神学院神学生養成担当者会議
4月1日(日)教区青年の日カテキズム集会(奈良)14時	22日(日)三重南勢ブロック司教訪問(松阪)	小教区評議会規約調整委員会14時	5日(火)共同宣教司牧推進チーフ事務局会議15時
2日(月)京都ノートルダム女子大学入学式10時	30日(月)安土セミナリヨ顕彰ミサ13時半	教区聖母月の集い巡礼	6日(水)中央協委員会
5日(木)聖木曜日・主の晚餐(河原町)19時	5月1日(火)京都暁星高等学校創立百周年記念ミサ10時	東京カトリック神学院会理會14時	7日(木)中央協常任司教委員会
6日(金)聖金曜日・主の受難(河原町)19時	5日(土)右近こども祭りミサ(大和様原)10時半	京都南部北ブロック司教訪問(西院)	8日(金)東京カトリック神学院宣教學講義
7日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町)19時	6日(日)京都南部北ブロック司教訪問(西院)	京都祭全体集会10時半	10日(日)ラテン・アメリカ人共同体(ボルトガル語)
8日(日)主の復活ミサ(河原町)	8日(火)共同宣教司牧推進チーフ事務局会議15時	第28回司祭評議会15時半(唐崎メリノールハウス)	ミサ(四日市)14時
10日(木)中央協常任司教委員会	9日(水)中央協委員会	26日(土)第7回教区宣教司牧評議会11時	12日(火)~14日(木)司祭・修道者研修会
11日(金)東京カトリック神学院宣教學講義	10日(木)中央協常任司教委員会	27日(日)京都南部地区合同堅信式(河原町)14時	17日(日)滋賀地区合同堅信式(天津)13時半
12日(木)西陣教会創立百周年記念ミサ14時	11日(金)東京カトリック神学院常任司教委員会	28日(月)~29日(火)司祭有志親睦会	18日(月)~22日(金)定例司教
13日(金)宣教司牧評議会書記局会議18時	12日(土)溝部脩高松司教講演「ペトロ岐部と1878年殉教者」(河原町)	30日(水)~31日(木)諸宗教対話部門会議	19日(土)司教靈名ミサ(河原町)
14日(木)ターミーティング(唐崎ノートルダム・祈りの家)会10時	13日(日)訪問(桑名)	3日(日)奈良ファミリー・デー合同堅信式ミサ(野外礼拜セントラル)13時半	23日(土)集会司式者學習会14時
15日(火)学法京都学園・京都南学園理事会14時	14日(月)三重北勢ブロック司教訪問(桑名)	24日(日)司教靈名ミサ(河原町)	24日(日)同堅信式ミサ(野外礼拜セントラル)14時
16日(水)司教顧問会・責任役員会14時	15日(火)訪問(桑名)	25日(月)女子カルメル修道会訪問(衣笠)14時	25日(月)教区幼稚園連盟園長会
17日(木)司教顧問会・責任役員会14時	16日(水)訪問(桑名)	26日(火)教区幼稚園連盟園長会	27日(水)教区カトリック学校連絡会(校長会)14時
18日(金)司教顧問会・責任役員会14時	17日(木)訪問(桑名)	28日(木)司教顧問会・責任役員会	28日(木)司教顧問会・責任役員会

29日 (金) 奈良聖書講座19時半	会10時 者会議(大阪大司教館)	6日 (木) 中央協常任司教委員会	9日 (火) 共同宣教司牧推進チー ム事務局会議15時
30日 (土) 奈良聖書講座10時	7月 1日 (日) 京都北部舞鶴ブロック 司教訪問(西舞鶴)	21日 (土) 濟州姉妹教区交流部14 時	10日 (月) 管区事務局長会議(高 松)
	3日 (火) 青少年委員会15時	22日 (日) フィリピン人共同体(英 語)ミサ(西院)15時	11日 (木) 福音セントラ一主宰「新 しい福音宣教」II幸田
	5日 (木) 中央協常任司教委員会 諸宗教対話部門会議 東京カトリック神学院 常任司教委員会	30日 (月) 奈良保育者研修会10時 ~8月2日(木)京都 教区カトリック学校教 職員司教と共に過ごす 修養会	12日 (火) 和生司教(河原町)
	6日 (金) 東京カトリック神学院 常任司教委員会	31日 (火) 学法滋賀学園理事会15 時(河原町会館)	13日 (木) 教区国際協力の日(京 都教区カトリック国際 ファミリー・デーin滋賀 ミサ)
	7日 (土) 福音センター結婚講座	8月 3日 (金) 比叡山宗教サミット20 周年記念の集い	14日 (日) 同体(スペイン語)ミ サ(伏見)14時
	8日 (日) 京都コリアンセンター 訪問ミサ10時	4日 (土) 比叡山平和の祈り15時 13時半	15日 (火) 福音セントラ一主宰「新 しい福音宣教」II幸田 和生司教(河原町)
	11日 (水) 教区聖書講座(河原町) 19時半	5日 (日) ~7日(火)教区中学 生広島平和巡礼(5日 広島平和ミサ18時)	16日 (火) ~23日(火)教区司祭 年(当別トライ スト修道院)
	12日 (木) 教区聖書講座(河原町) 10時	12日 (日) 教区一斉平和祈願ミサ 京都南部東ブロック平 和ミサ(河原町)15時 平和行進17時	17日 (水) 宇津・山国教会創立50 周年ミサ14時
	14日 (土) 第16回共同宣教司牧推 進チーム会議10時半	26日 (水) 司教顧問会、司祭評・ 常任委員会15時	18日 (木) 福音セントラ一主宰「新 しい福音宣教」II幸田
	15日 (日) 故小野十益神父一年祭 ミサ(河原町)10時	27日 (木) 小教区評議会規約調整 委員会10時	19日 (金) ラテン・アメリカ人共 同体(スペイン語)ミ サ(伏見)14時
	19日 (木) 司教顧問会・責任役員 会10時	30日 (日) 奈良南部ブロック司教 訪問(西大和)	20日 (土) 和生司教(河原町) 教区神学夏冬季合宿
20日 (金) 小教区評議会規約調整 委員会14時	10月 1日 (月) 那須トラピスチン訪問 東京カトリック神学院 那須ガリラヤの家訪問	30日 (火) 青谷聖家族幼稚園創立 50周年記念式(河原町) 10時	21日 (火) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
5日 (水) 中央協委員会	2日 (火) 教区聖書講座(河原町) 10時	31日 (水) 中央協委員会	22日 (火) 福音セントラ一主宰「新 しい福音宣教」II幸田
4日 (火) 青少年委員会15時	3日 (水) 諸宗教対話部門会議 教区教会学校研修会 町)10時	11月 1日 (木) 中央協常任司教委員会	23日 (水) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	4日 (木) 中央協常任司教總会	3日 (木) 中央協常任司教委員会	24日 (木) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	5日 (金) 特別臨時司教總会	4日 (木) 中央協常任司教委員会	25日 (木) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	6日 (土) 濟州姉妹教区交流部14 時	5日 (木) 衣笠墓苑参14時	26日 (木) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	7日 (日) 「京都の大殉教」列福 教区一斉祈願ミサ(河 原町)	5日 (月) 教区宣教司牧評議会書 記局会議18時	27日 (木) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	6日 (火) 福音センター会議10時	6日 (火) 衣笠墓苑参14時	28日 (木) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)
	7日 (火) 大阪教會管区教区代表	5日 (月) 教区宣教司牧評議会書 記局会議18時	29日 (火) 和生司教(河原町) 教区司祭年(当別トライ スト修道院)

7日(水)	会議(京都) 15時	12月
8日(木)	東京カトリック神学院 常任司教委員会	1日(土)~19日(水) ローマ
9日(金)	司祭全体集会 10時半、 第29回司祭評議会 15時	21日(金) 司教顧問会・責任役員 会10時
10日(土)	半(唐崎メリノールハ ウス) 第8回教区宣教司牧評 議会 11時	19時半
11日(日)	滋賀地区ラテンアメリカ 共同体堅信式ミサ (彦根) 15時	主の降誕深夜ミサ(河原町) 原町 23時半
12日(月)	カ共同体堅信式ミサ 会14時	25日(火) 主の降誕ミサ(河原町) 10時
13日(火)	教区司祭追悼ミサ(河 原町) 17時	24日(月) 河原町市民クリスマス 会 10時
14日(水)	交流会(日本) 三重地区ラテンアメリカ 共同体堅信式 15時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
15日(木)	日韓司教 ム事務局会議 15時	24日(月) 河原町市民クリスマス 会 10時
16日(金)	カ共同体堅信式 15時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
17日(土)	司教顧問会・責任役員 会 14時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
18日(日)	教区司祭追悼ミサ(河 原町) 17時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
19日(月)	共同宣教司牧推進チ ム事務局会議 15時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
20日(火)	ム事務局会議 15時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
21日(水)	ム事務局会議 15時	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
22日(木)	列福式巡 礼	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
23日(金)	「ペトロ岐部と187 殉教者」列福式(長崎) ローマ	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時
24日(土)	諸宗教対話評議会総会 日本司教団アドリミナ (ローマ聖座訪問)	25日(火) 河原町市民クリスマス 会 10時

教区内の活動予定

(変更がある場合がありますので、毎月の教区時報のお知らせページでご確認ください)

福音センターの行事

◆養成コース(前期)▼基本講座
「成人のキリスト教入信式」を学ぶ(仮称・日程未定)▼特別講座
「現代の殉教」5月12日 河原町
ヴィリオンホール▼「病人訪問一
日研修」4月1日 河原町会館6
階▼「祈り」(I) 6月2日~3日
ノートルダム唐崎祈りの家

(後期)▼「新しい福音宣教を目ざして」(II) (日程未定)▼基本講座「洗礼の秘跡について」(仮称・日程未定)▼「祈り」(II) 11月29日

▼Y E S 2 0 0 7 11月(日は未定)
▼運営委員会in滋賀 12月8日(土)

の家▼病人訪問 12月15日~16日
ノートルダム唐崎祈りの家▼「沈黙の祈りへ」1月より月1回▼「祈りを学ぶ会」月1 田辺教会

▼中学生冬合宿・高校生冬合宿 12月(日は未定)

教区委員会の行事

◆結婚講座 第28回 2月3日、2月
17日、2月24日 河原町会館6階▼
第29回 7月7日、7月21日、8月
4日 河原町会館6階

◆聖書委員会▼一日聖書深読会
年間11回 河原町会館7階▼ミニ
聖書深読会(2時間)月1回木曜
日夜コース及び昼コース 河原町
会館7階▼聖書講座 5月9日~10
月25日(年間20回)水曜日夜コ
ース、木曜日昼コース、8月は休講

浜2月10日(土)~11日(日)▼
カトリック青年連絡協議会 in 横浜
2月11日(日)~12日(月)▼運営
委員会 in 奈良 2月17日(土)▼中
学生春合宿・高校生春合宿 3月(日
は未定)▼運営委員会 in 京都南部
4月(日は未定)▼運営委員会 in
三重 6月16日(土)▼中学生広島
平和巡礼 8月5日(日)~7日(火)

▼高校生夏合宿 8月(日は未定)
▼カトリック青年アジア体験学習
8月(日は未定)▼運営委員会 in
京都北部 9月1日(土)▼ネット
ワークミーティング in 名古屋 9月
15日(土)~16日(日)▼カトリック
青年連絡協議会 in 名古屋 9月16
日(日)~17日(月)▼運営委員

◆聖ドミニコ女子修道会▼「みこ
とばを聴こう!」誰に祈るのか
『ユダの福音書』や『ダ・ヴィンチ・
コード』の問題点~2月11日(日)

9時半 指導 米田彰男師(ドミ
ニコ会) 対象 青年男女 会費
500円▼「ロザリオと共に祈る

会」1月19日(金) 10時半 どな
たでもどうぞ▼場所 いずれも京
都修道院▼問合せ 075(233)1

地区の行事

◆滋賀カトリック協議会▼例会2

月18日(日)大津教会、4月15日
(日)草津教会、6月24日(日)

彦根教会、9月30日(日)長浜教
会、11月18日(日)唐崎教会(い
ずれも日曜日)▼安土セミナリヨ

記念ミサ4月30日(月)▼合同堅
信式6月17日(日)大津教会▼典
礼研修会7月7日(土)▼国際ファ
ミリーデー9月23日(日)▼びわ
こウォーカソン11月23日(祝)

12月13日(いずれも木曜日)河原
町会館6階▼手話ミサ年4回、四
旬節黙想会(いずれも日は未定)
◆京都カトリック混声合唱団▼練
習日1月14日、21日、27日、2月
11日、24日、3月11日、24日、4
月8日、21日、29日、5月13日、
26日、6月10日、23日、7月8日、
21日、29日、8月5日、25日、9
月9日、22日、30日、10月14日、
27日、11月11日、24日、12月9日、
16日(土曜日または日曜日)いず
れも河原町会館6階▼ミサ奉仕・
奇数月土曜日の練習前に河原町教
会夕べのミサ▼新年総会1月14日
(日)練習後▼夏の親睦パーティ
7月8日(日)練習後▼クリスマス
スペーティ12月16日(日)の練習
後

◆子羊会▼新年会1月28日(日)
高野教会▼黙想会5月20日(日)
ウイチタの聖ヨゼフ修道院本部聖
ヨゼフホール▼一泊合宿8月25日
(土)～26日(日)多治見修道院(岐
阜県)ワイン工房

月6日将軍塚▼南蛮寺跡ミサ8月
26日平新旅館、ミサ後懇親会・巡
旬節黙想会(いずれも日は未定)
◆都の聖ラザロ顕彰ミサ10月7
日河原町教会▼追悼ミサ11月4日
所未定)▼以上いずれも日曜日
◆コーキ・チャレスティ▼練習日每
月第2、第4、第5木曜日河原町
会館6階

◆糖みその会▼例会1月25日、2
月22日、3月29日、4月26日、5
月31日、6月28日、7月26日、8
月30日、9月27日、10月25日、11
月29日、12月13日(12月を除いて
毎月の最終木曜日)九条教会ホー
ル

◆在世フランスコ会▼京都兄弟
室1月28日、3月4日、5月6日、
6月3日、7月1日、9月2日、
12月2日▼例会、会員の集い10月
7日▼以上いずれも日曜日河原町
会館6階

◆心のともしび 1月番組案内
▼テレビ(衛星・ケーブル放送)
スカイAスポーツプラス
ハヤット神父によるカトリックの
教え*土曜日朝8時45分より
6日と13日「キリストのご受難」
20日と27日「キリストのご死去」
▼ラジオKBS京都ラジオ
1月のテーマ「愛」。

(11月15日現在)

累計48、573、087円

◆「一万匹の蟻運動」基金報告